

ミニサッカーガイドライン

鳥取県版 U-10/U-8 ミニサッカーゲームの設定と運用

2021.09

一般財団法人鳥取県サッカー協会
技術委員会普及部会

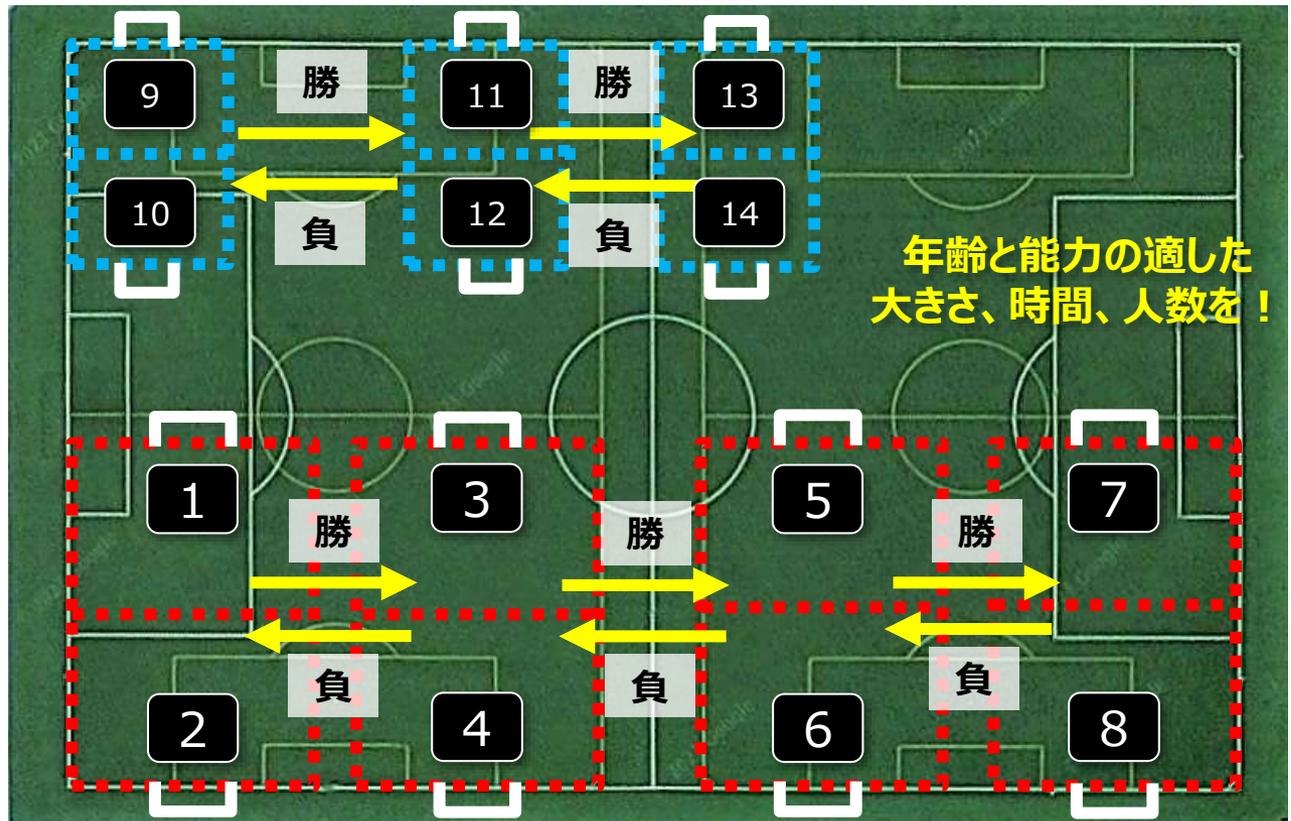


ミニサッカーゲーム・コートレイアウト

(2021年9月現在)

U-8カテゴリー
(小学1・2年生)
20m×15m
3コート
3号球
3試合
10分×3試合

U-10カテゴリー
(小学3・4年生)
30m×20m
4コート
4号球
4試合
10分×4試合



- ✓ 1試合15分間 試合12分（前半5分-休憩2分-後半5分）・3分（移動・休憩）
- ✓ 自由交代（めざせ全員出場・全員ゴール！）
- ✓ 対戦相手のチームとシャツカラーが重複したら、ビブスを着用する

オーガナイズ・ルール設定

(2021.06版)

| U-8 (1年生・2年生) | ルール・設定 | U-10 (3年生・4年生) |
|--|---------------------------|---|
| 3人制GKなし (FP3人) | 人数 | 5人制GKあり (FP4,GK1) |
| いつでも自由 | 交代 | いつでも自由 |
| 縦20m × 横15m | ピッチサイズ | 縦30m × 横20m |
| — | ペナルティエリアサイズ | 縦6m × 横 15m (ゴールポストから6m ゴールエリアはなし) |
| 高1m × 横2m キッズゴール | ゴールサイズ | 高2m × 横3m フットサルゴール |
| 3号球 | ボール | 4号球 |
| 5分 (2分) 5分 | 時間 (休憩時間) | 5分 (2分) 5分 |
| キックインまたはドリブルイン 相手は約3m以上はなれる | アウトオブプレーからの再開 | キックインまたはドリブルイン 相手は約3m以上はなれる |
| ゴールラインから再開 キックインまたはドリブルイン 相手はハーフラインまで下がる | ゴールキック | ゴールラインから再開 キックインまたはドリブルイン 相手はハーフラインまで下がる |
| なし | GKキャッチ後 | 置いてキック・ドリブル、スロー パントキック (もち蹴り) NG, ハーフライン越えNG → 間接FK |
| なし | オフサイド | なし |
| キックオフ | 得点後のリスタート | キックオフ |
| なし | キックオフシュート | なし |
| 間接フリーキック※直接シュートはNG 相手は約3m以上はなれる | 反則したとき (何が良くなかったかを教える) | 間接フリーキック※直接シュートはNG 相手は約3m以上はなれる |
| なし/すべて間接フリーキック | PK | なし/すべて間接フリーキック |

■ めざすところ

- ✓ 参加する選手、指導者、保護者、運営者、だれもが楽しんでいるサッカー大会/イベントとする
- ✓ 参加する選手全員が試合に出場し、全員がゴール（得点者）をめざす
- ✓ 育成年代の年齢に適したゲーム環境の理解促進と大人の関わりを啓発する
- ✓ サッカーを楽しむ仲間として、自チームの選手や相手チームへのリスペクト・フェアプレーを大切にする

※ 審判は任命せず、対戦チームの帯同指導者や中高生等が「ピッチマネージャー」として選手たちの試合の安全を管理する。

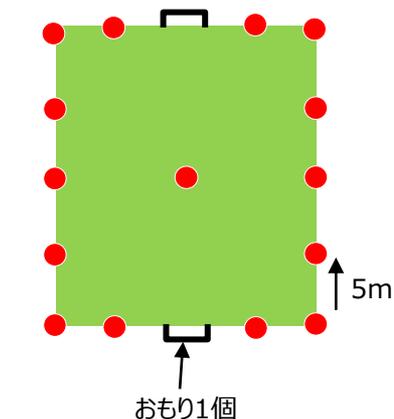
■ ピッチマネージャーの役割

- ① これから行うゲームの参加選手を確認／選手交代の対応
- ② タイムキーパー（全ピッチで一斉開始・終了）
- ③ ゲーム中は基本的に見守る
 - ・ プレーが継続しやすいようにボールの準備・配球に気をつける
 - ・ 選手交代の対応・肯定的なフィードバック・励まし（自チームだけにならない）
 - ・ 子どもたちのセルフジャッジをうまく促す／フェアプレー推進
 - ・ ケガの対応等／欠員が出たら代わって参加
- ④ 次に行うゲーム、ピッチへの誘導

ピッチサイズ・作成法 (例)

| 縦20m × 横15m | ピッチサイズ | 縦30m × 横20m |
|------------------|-------------|---------------------------------------|
| — | ペナルティエリアサイズ | 縦6m × 横 15m (ゴールポストから6m ゴールエリアはなし) |
| 高1m × 横2m キッズゴール | ゴールサイズ | 高2m × 横3m フットサルゴール |

【 3ピッチ作成 】



マーカー 最大15枚

※既存のラインを共有できるピッチは省略する

【用具】

■ゴール

U-10 ゴール (フットサルゴール)

U-6 ゴール (キッズゴール)

■マーカー

U-10ピッチ 縦7枚×2本、中央3枚、PA10枚×2
計 27枚

U-8ピッチ 縦5枚×2本、横2枚×2、中央1枚
15枚

■ミニコーン

4個×7コート = 28本 (※あれば)

■ボール

4号球 16球

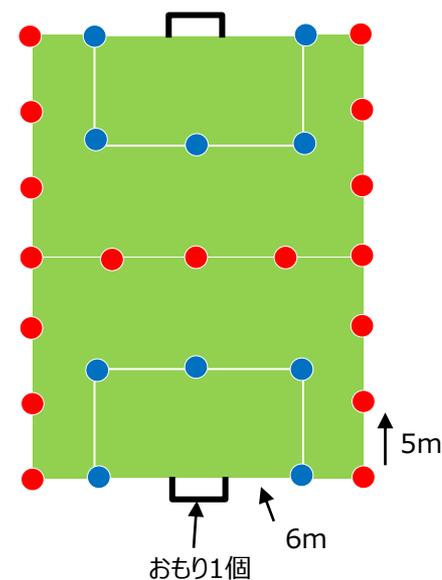
3号球 12球 (軽量ではない)

■ビブス (※各ピッチ予備)

ジュニアビブス 4セット、キッズビブス 3セット

■ホイッスル、時計

【 4ピッチ作成 】



マーカー 最大27枚

※既存のラインを共有できるピッチは省略する

■ ピッチマネージャーの役割

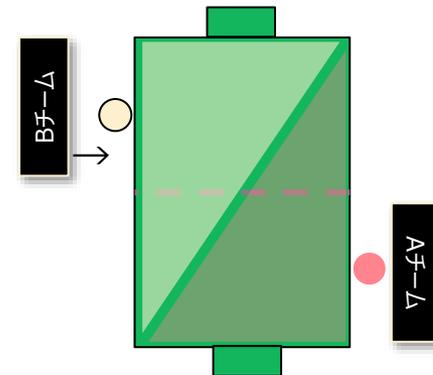
ピッチマネージャーは参加チームの引率指導者が相互に行う。

ピッチマネージャーの役割（帯同指導者が相互に実施）

- ・ 試合の安全管理（ケガ時の対応、予備ボールの管理、隣接ピッチからのボール対応等）
- ・ 試合を見守る（選手たちのセルフジャッジや自主性を促す）
- ・ ルールを教える（フェアプレー、リスペクト）
- ・ 試合前、試合後のあいさつを促す
- ・ ポジティブな働きかけや関わりをもつ（チャレンジを促す、褒めるなど）
- ・ 危険なプレーのみファウルとしフリーキックを行う
- ・ 次のゲームへの誘導
- ・ 試合開始、終了のホイッスルは本部から統一発出

■ ピッチマネージャーの立ち位置

- ・ 自チームのベンチ前で相互に行う
- ・ 自チームのベンチの前のエリアを主に担当する（コート半分と手前ライン側）
- ・ 自チームの選手交代等も併行しながら行うことができる
- ・ 選手たちの自主性を促し、必要外に声をかけすぎない



各年代での心身の特性とゲーム

U-8 (小学校1・2年生)

そのために、

- ・一度にプレーする人数を少なくする
- ・スペースと時間を与える
- ・ゴールまでの距離（ピッチサイズ）を考える必要がある。

心身の特性

- ・体を動かすことへの意欲が高い
- ・基本的動作の獲得
- ・言葉の理解が進み、他人とのコミュニケーションができるようになる
- ・大人への依存

ゲームの様子

- ・個の力で突破しようとする
- ・味方と協力しようとパスを試みるが、不正確
- ・パスを受けようとする（サポートが見られる）
- ・ボールを中心とした守備（その結果としてボールに人が集まる）

ゲームのねらい

- ・味方と協力しながらボールを前に運ぶ
- ・味方と協力しながら相手と対応する
- ・サポートの距離（ボールから離れる）を意識する
- ・シュートへの意識を高める

各年代での心身の特性とゲーム

U-10 (小学校3・4年生)

そのために、

- ・一度にプレーする人数を少なくする
- ・スペースと時間を与える
- ・ゴールまでの距離（ピッチサイズ）を考える必要がある。

心身の特性

- ・ 抽象的思考の発達
- ・ 子ども同士の仲間集団の形成
- ・ 個性に芽生え
- ・ 身体バランスの安定と運動技能の向上

ゲームの様子

- ・ 味方も使いながら、個の力で突破しようとする
- ・ 意図のあるパス
- ・ 意図的なサポート
- ・ 味方と協力したボールを中心とした守備

ゲームのねらい

- ・ 複数の味方と意図的に協力しながらボールを前に運ぶ
- ・ 複数の味方と意図的に協力しながら相手と対応する
- ・ 適切なサポートの距離
- ・ シュートへの過程を意識

プレーヤーズファースト！

子どもたちが

「**観て・判断して・実行する**」プレーに、

たくさんトライできるように、

まわりの大人が良い関わりとサポートをしていきましょう！

RESPECT 大切に思うこと